

尿尿浄化槽 J I S の改正に伴う住宅の人槽算定について

平成 1 2 年 4 月 3 日
鳥取県土木部建築課

平成 1 2 年 3 月 1 7 日のし尿浄化槽の J I S の改正に伴い、鳥取県内での戸建て住宅のし尿浄化槽について下記のとおり取扱うこととする。

記

- 1 新築における浄化槽の取扱いは、次のとおりとする。

延べ面積 1 6 5 m ² 未満	1 . 0 m ³	(5 人槽相当)
延べ面積 1 6 5 m ² 以上	1 . 4 m ³	(7 人槽相当)
二世帯・大家族住宅用 (台所及び浴室が 2 力所以上)	2 . 0 m ³	(1 0 人槽相当)
- 2 増築・改築等における浄化槽の取扱いは、次のとおりとする。

実居住人員を勘案して運用する。(既存の浄化槽の処理人員が実居住人員を超える場合は浄化槽を入れ替える必要がないこととする。)
- 3 経過措置
平成 1 2 年 4 月 3 日以前に確認済の浄化槽で、 J I S 改正の施行後に浄化槽を設置するものについては、改正後の基準を適用してもかまわない。(この場合の変更は、軽微な変更 (浄化槽の変更届のみ) で取り扱うものとする。)

(考え方)

新築における浄化槽の取扱いについて

平成 1 0 年度住宅需要実態調査の資料から、全国の戸建住宅平均面積 (129.78 m²) と鳥取県の戸建住宅平均面積 (164.70 m²) であることから実情に合わせ、JIS 改正「 1 3 0 m²未満 5 人槽、 1 3 0 m²以上 7 人槽」をそれぞれ鳥取県では「 1 6 5 m²未満 5 人槽、 1 6 5 m²以上 7 人槽」とするものである。

なお、台所及び浴室が 2 力所以上ある二世帯住宅・大家族住宅用の浄化槽は J I S 改正案のとおりとする。

建築物の用途別による尿尿浄化槽の処理対象人員算定基準 (JIS A 3302) の改正概要について (鳥取県での取扱い)			
住宅の処理対象人員の算定式の改正			
・従前の 6 区分ある人槽を、基本的に述べ面積 1 6 5 m ² 未満と 1 6 5 m ² 以上の 2 区分に改める。なお二世帯住宅については、水量のみを別途定める。			
【 現 行 】		【 J I S 改正後の鳥取県での取扱い 】	
~ 100 m ² 5 人槽	1.0m ³	165 m ² 未満 小家族住宅用 (5 人槽相当)	1 . 0m ³
100 ~ 130 m ² 6 人槽	1.2m ³	165 m ² 以上 普通住宅用 (7 人槽相当)	1 . 4m ³
130 ~ 160 m ² 7 人槽	1.4m ³		
160 ~ 190 m ² 8 人槽	1.6m ³		
190 ~ 220 m ² 9 人槽	1.8m ³		
220 m ² ~ 1 0 人槽	2.0m ³	台所及び浴室が 2 力所以上 二世帯・大家族住宅用 (1 0 人槽相当)	2 . 0m ³